

群馬県内企業の新卒者採用に関するアンケート調査

群馬経済研究所主任研究員 丸岡美智世

調査のポイント

新卒者の採用状況や今後の採用計画とともに、新型コロナウイルス感染拡大を契機に利用が進んだといわれるオンライン採用の利用状況等を調査した。なお、付帯調査として、インターンシップの実施状況や来年の実施予定を尋ねた。

要約

- 21 年 3 月の新卒者採用は、6 割強の企業が計画し、このうち 8 割近くが採用した。
- 採用した企業のうち、採用計画を達成できなかった企業が半数近くを占め、その理由には「応募が少なかったから」が多かった。
- 22 年 3 月新卒者の採用計画企業は 6 割強となり、21 年と比べて、過半数が「前年並み」、3 割強が「増やす」であった。「増やす」理由には「長期的な人材計画上の判断のため」が最も多かった。
- 採用計画企業のうち、採用活動の『オンライン利用』は 4 割超で、特に大企業の利用が多い。『オンライン利用』は、多くの学生と接点を持つための企業説明会での利用が多く、面接では「対面のみ実施」が多い。
- オンラインを利用する目的は、「感染症対策のため」や「遠方に住む就職希望者のため」が、利用しない理由には「対面で人柄や適性を見極めるため」が多い。
- 今後は、オンライン採用を半数超が実施予定である。本県出身学生の U ターン促進等も視野に入れ、オンラインをうまく活用していくことが期待される。